

# ぶらり らいぶらりい

～図書室にはこんな本があります～

No. 248



\*利用者からの質問をもとに昭和館図書室の資料をご紹介します。  
(書名の後の ( ) の数字は請求記号です。)

問) 『ペリリュウ島—楽園のゲルニカー—』は生存者の話をもとに作られたと書いてあったのだが、そのような話を読める本はないか。

答) 検索端末の【なんでも検索】にキーワードを入れてみます。

ペリリュウ 証言 検索 → 図書 (book) 18件 / 雑誌 (magazine) 11冊 ヒット  
タイトルをクリックすると資料の詳細情報が表示されます。右側が目次一覧です。

The screenshot shows the search results for 'ペリリュウ 証言'. On the left, there is a list of books with details like ISBN, title, author, and price. On the right, there is a list of search results with titles and authors. A red box highlights the title 'マキン・タラワ・ペリリュウ島玉砕 証言 / 山口永博'.

検索単語が赤字になって表示されていますので、それを参考に目的の本を探することができます。

ちなみに『ペリリュウ島—楽園のゲルニカー—』は2021年7月に最終巻が発売され、アニメ化も決まったそうです。

図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。  
検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。  
操作方法等、カウンター職員までお気軽にお問い合わせください。



## まんが 「児童漫画界の三羽ガラス」の一人 馬場のぼる



二足歩行する1匹の猫が冒険をくりひろげる絵本『1匹きのねこ』。昭和42年(1967)にこぐま社よりシリーズ第1作目が刊行し、平成8年(1996)までに合計6冊が出版されました。親子3代にわたって親しまれているロングセラー絵本です。

このにっこりほほ笑む二足歩行の猫を生み出した作者の馬場のぼるは、手塚治虫や福井英一とともに、『児童漫画界の三羽ガラス』として人気を博した一人でした。そして馬場は戦時中は特攻隊員でもありました。

馬場は昭和2年(1927)、青森県三戸町に生まれました。岩手県立旧制福岡中学校を卒業後、次男であった馬場は自ら志願して土浦海軍航空隊の飛行予科練習生となり、20年(1945)に特攻隊に編成されます。しかし空襲により施設が壊滅状態になったため、秋田県合川町大野台のグライダー基地で滑走路づくりや、模擬爆弾を積んだグライダーを使って敵艦にぶつかる訓練に明け暮れました。

20年8月15日正午、馬場たちは宿舎にしていた小学校の校庭で、隊長から終戦を告げられました。その時馬場が思ったことは、生きて帰れる、助かったということだったそうです。また馬場はこの戦争には勝てないことを少年ながら知っていたとも述べています。

終戦後は小学校の代用教員になりますが、公職追放で2か月ほどで免職になってしまいます。しかしGHQ(連合国軍最高司令官総司令部)に追放撤回を申請し復帰、約1年間勤務します。その後、八戸市近くにあった米軍キャンプ内の娯楽施設で、ダンスパーティやビンゴ大会などのポスターを描く仕事をしました。キャンプ内では将校たちと共に企画を立ててポスターを描き、好評を得たようです。

24年(1949)には、漫画家を志して上京し、故郷で知り合った児童文学者・白木茂の紹介状を持って小学館を訪ねたところ、『小学一年生』に掲載する見開きの運動会の風景を漫画で描くよう指示されます。馬場は徹夜で描き上げ、描き直しの後に採用されます。このイラストは好評を博し、その後馬場はあらゆる学年誌に登用され、25年の『おもしろブック』創刊にともない連載した漫画『ポストくん』は大人気となります。そして幼年ブックに連載した『ブウタン』では第1回小学館漫画賞を受賞します。児童漫画だけでなく、一般向けの週刊誌や新聞でも連載を持った馬場は、その後絵本の世界に活躍の場所を移しました。

平成13年(2001)、馬場は胃がんにより73歳で亡くなります。最期に残したスケッチブックの最終ページには、風神・雷神のほかにゼロ戦に乗った猫が描かれていました。そのゼロ戦が搭載していたのは大きな魚。馬場はどのような思いでこの絵を描いたのでしょうか。

・『正伝・昭和漫画』(000053869 726/Te52 地下書庫和図書)

・練馬区立美術館 没後20年まるごと馬場のぼる展(2021年7月25日~9月12日) 展示品

ぶらりらいぶらりい ~図書室にはこんな本があります~ NO. 248

2021年9月20日 発行/ 編集・発行 昭和館 図書室 〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1